

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原医療介護福祉専門学校大分校
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	医療管理 2年制学科	夜・通信	1,355 時間	160 時間	
	医療管理 1年制学科	夜・通信	495 時間	80 時間	
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	夜・通信	2,584 時間	160 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原医療介護福祉専門学校大分校
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2019.4.1～ 2023.3.31	法人運営における法 務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代表	2019.4.1～ 2023.3.31	学生募集、教材開発 への助言
非常勤	前：不動産関連企業 代表	2019.4.1～ 2023.3.31	校舎等学習環境の 整備への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原医療介護福祉専門学校大分校
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
《授業計画書の作成》	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画(シラバス)について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業(各学科)担当教員により作成を行っている。 ・ なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。 	
《授業計画書の作成・公表時期》	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成時期は、1月から12月末日まで。公開時期は4月とする。 	
授業計画書の公表方法	https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。</p> <p>なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。</p> <p>《卒業について》</p> <p>各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、卒業に必要な授業科目に合格し、所定の全教育課程を修了したと認められた場合、卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。</p> <p>《進級について》</p> <p>各課程・学科において、所定の授業科目の履修を積み重ね、進級に必要な授業科目に合格し、所定の教育課程を修了したと認められた場合、進級できる。</p> <p>《学業成績について》</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。</p> <p>学業成績の判定は、「優・良・可・不可」の4種で判定し、「優・良・可」を合格（認定）とし「不可」は不合格（不許可）とする。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業の達成度を客観的に評価するための指標としてGPA (Grade Point Average) を採用し、本校の成績評価に使用している。本校ではGPAを基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標としてGPAを活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な算出方法は、 $GPA = \frac{\text{各科目の(時間数} \times \text{評価ポイント)の合計}}{\text{総時間数(履修登録時間の総数)}}$ (評価ポイント 優:4ポイント 良:3ポイント 可:2ポイント 不可:0ポイント)である。 ・GPAは学期ごとに求め、学生自身の学修状況の理解に役立てる。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>《卒業について》</p> <p>各課程・学科の修業年限に在籍し下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、その該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>医療管理2年制学科は1,860時間 医療管理1年制学科は930時間 国際ビジネス学科は800時間 介護福祉学科は2,044時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（1年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。 ・各課程・学科に定められた授業科目や検定試験等で一定の基準を満たしていない者は追試験等を合格しなければ卒業できない。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原医療介護福祉専門学校大分校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
収支計算書又は損益計算書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
財産目録	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
事業報告書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
監事による監査報告（書）	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療管理2年制学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 時間 単位時間/単位	2,640 単位時間 /単位	560 単位時間 /単位	1,000 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		4,200 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		29人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業方法及び内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。 ・授業科目の履修において、規定を満たさない者には補講授業を行うことがある。なお、補講授業は授業科目の未出席授業を行い、授業科目の出席時間とすることができる。また、学年別授業科目の定めに関係なく、卒業までの間に行うこととする。 <p>《授業計画書の作成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、各教科目中、出席数が規定時数の3分の2に達しない者は、その科目についての評価をうけることができない。 学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> 優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>所定の授業時間以上履修し、かつ、その該当する授業科目に合格した者で、平素の学習成績ならびに出席状況を審査して卒業（又は進級）を決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者、担任による三者面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック、調剤薬局 等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習、入社前準備プログラム（PCP教育）等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務試験、医師事務作業補助技能認定試験、MOS 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	1人	5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期面談（本人および保護者）担任以外のチーフ、管理職による面談、進路相談（本人および保護者）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療管理1年制学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	930時間 単位時間/単位	1,190 単位時間 /単位	340 単位時間 /単位	530 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,060 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>《授業方法及び内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。 ・授業科目の履修において、規定を満たさない者には補講授業を行うことがある。なお、補講授業は授業科目の未出席授業を行い、授業科目の出席時間とすることができる。また、学年別授業科目の定めに関係なく、卒業までの間に行うこととする。 <p>《授業計画書の作成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業(各学科)担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、各教科目中、出席数が規定時数の3分の2に達しない者は、その科目についての評価をうけることができない。 ・学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次のとおりとする。 優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>所定の授業時間以上履修し、かつ、その該当する授業科目に合格した者で、平素の学習成績ならびに出席状況を審査して卒業(又は進級)を決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者、担任による三者面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 大学病院、総合病院			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習、 入社前準備プログラム（PCP教育）等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療情報管理士、MOS 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期面談（本人および保護者）担任以外のチーフ、 管理職による面談、進路相談（本人および保護者）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,044 時間 単位時間/単位	1,278 単位時間 /単位	850 単位時間 /単位	456 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,584 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		16人	0人	3人	1人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業方法及び内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。 ・授業科目の履修において、規定を満たさない者には補講授業を行うことがある。なお、補講授業は授業科目の未出席授業を行い、授業科目の出席時間とすることができる。また、学年別授業科目の定めに関係なく、卒業までの間に行うこととする。 <p>《授業計画書の作成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、各教科目中、出席数が規定時数の3分の2に達しない者（介護実習等については、規定時数の5分の4に達しない者）は、その科目についての評価をうけることができない。 ・学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次のとおりとする。 優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、 優、良、可を合格、不可は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>所定の授業時間以上履修し、かつ、その該当する授業科目に合格した者で、平素の学習成績ならびに出席状況を審査して卒業（又は進級）を決定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者、担任による三者面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 介護福祉施設			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習、 入社前準備プログラム（PCP教育）等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、レクリエーション・インストラクター 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	2人	13.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期面談（本人および保護者）担任以外のチーフ、 管理職による面談、進路相談（本人および保護者）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療管理 2年制学科	100,000円	600,000円	350,000円	
医療管理 1年制学科	100,000円	600,000円	350,000円	
国際 ビジネス学科	100,000円	600,000円	350,000円	
介護福祉学科	100,000円	600,000円	440,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。なお、学校関係者評価委員は、企業等委員、業界団体関係者及び卒業生より、最低6名の委員を招聘している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人医療実務研究会	2020.4.1～2022.3.31	業界団体関係者
一般社団法人大分県介護福祉士会	2020.4.1～2022.3.31	業界団体関係者
社会医療法人 敬和会 大分岡病院	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員
医療法人進修会 メディケアおおつか	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員
社会福祉法人永生会 明治清流苑	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員
医療法人メディケアアライアンス あおぞら病院	2019.4.1～2021.3.31	卒業生
社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団 中津総合ケアセンターいずみの園	2020.4.1～2022.3.31	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。